

のじぎく賞 理容ボランティアで久岡幸三さんが表彰されました



長年にわたり、病院で入院患者の理容ボランティアを続けてこられた久岡幸三さん(大中)が善行に対して贈られる「のじぎく賞」を受賞されました。明石市貴崎で理容店(ミスター床屋)を営むかたわら、月2回1日に70〜90人の散髪を2人のスタッフでされています。久岡さんは「くたくたになりますが、散髪のと、ありがたうという気持ちで頑張ることがうれしくて続けてこられました」と話しておられました。

「播磨南高校で学んだ英語が、自信となった」俳優 中村讓さんが、母校の後輩たちにむけて講演しました



▲加古川観光大使を務めています



講演の中で中村さんは、「英語をえわかれば、どこの国の人もコミュニケーションはできるという自信があった」と話しました。「どうしたら英語がうまくなるのか」という質問に、「ポディーランゲージでも、伝えたいという思いがあれば伝わる。英語は相手が教えてくれるから、大丈夫と答え、「外国で一人頑張っていた時期、ふるさとのありがたさがよくわかりました。高校生活で得る友人を大切にしてください」と、高校生たちを勇気づけてくれました。

東播磨ふれあいネット(BAN-BANテレビ 11チャンネル) 播磨町・稲美町・加古川市・高砂市の行政広報番組です。

5月の放送予定 (収録場所 播磨町)

前半 5月4日(祝)~17日(日)

- 特集 上手に活用・稲美町紹介冊子(稲美町)
●ふれあいインフォメーション(各市町からのお知らせ)

後半 5月18日(月)~5月31日(日)

- 特集 加古川名物「かつめし」を知っていますか(加古川市)
●ゆうゆうライフ(播磨町)
●ふれあいインフォメーション(各市町からのお知らせ)

放送時間(第1・3月曜日の①以外は再放送)30分番組

Table with columns for days (月・水・金, 火・木, 土・日) and times (①, ②, ③).

いいね! はりま

町政 レポート No.28



▲播磨ふれあいの家周辺にある「あさご芸術の森美術館」入り口

播磨町の「ふれあいの家」がある朝来市の多々良木ダム湖周辺は四季折々に見所が多いところですが、春は桜の名所でもあります。桜吹雪が舞う中で、春の一日を楽しませてはいかがでしょう。素晴らしい自然にきっと感動されることと思います。ダム湖の下にある朝来芸術の森美術館も必見です。「ふれあいの家」利用者には役場から無料送迎バスも出ています。

■新年度予算が成立しました。3月議会の最終日は議員1人欠席のため、21年度予算の議案は賛成8、反対8の同数ということで、議長採決となりました。杉原延享議長が予算原案に賛成されたので、町の提案した予算案が原案どおり無事可決されました。半年ほどかけて練り上げた教育、福祉、安全・安心などに重点をおいた21年度予算でありましたので、嬉しい限りです。各種事業の実施に伴い、住民の方々日々の生活の豊かさを実感していただけるようになればと思っています。

■ライマ市との姉妹都市提携を結んでから10年が経ちました。今回10周年記念事業をするにあたり、予算を使わなくても心に残る演出をということで、職員と国際交流協会の工夫により、インターネット回線を利用しての式典となりました。バーガー市長と私の挨拶に始まり、お互いにリアルタイムで送られてくる映像を見ながら、これまで相互訪問で知り合った両国のなつかしい友人たちが画面での再会を果たしました。途中映像が途切れてハラハラする場面もありましたが、播磨町の先覚者ジョセフ・ヒコが150年前にアメリカに渡った時代を思い出すと、いまさらながら科学の進歩には驚くばかりです。会員の中にはメールでのやり取りをされている方も多く、両国に芽生えた友情はこれからも変わらず続いていくものと思います。

播磨町長 清水ひろ子

わんぱくはりまっ子



えとう ひなこ 江藤 陽菜子ちゃん(1歳)

西野添

毎日お散歩に行くのが楽しみな陽菜子です



このコーナーに出ていただく「わんぱくはりまっ子」を募集しています。(未就学児) 広報担当まで電話をお願いします。

楽屋裏

高速道路の料金が安くなりました。もう何年も帰省をしていなかった我が家では、高速道路を利用して大型連休に帰省しようかと考えてみました。500キロ離れた遠いふるさと、高速道路料金千円で帰れるなんて、帰省しなきゃ損という気になります。車の運転は、好きなので道のりもそれなりに楽しむことができます。問題は渋滞。普段でも混雑する大型連休に、高速道路利用者が増えます。増えるのかと思うとなかなか帰省する気になれず悩んでいます。どうしようかな。どのくらい混むのかな。悩んでいるうちに連休はそこまで迫っています。皆さんは、今年の大型連休をどんなふうに過ごすのでしょうか? (宮)

第12回学童バザーにご協力ありがとうございました

1月25日(日)、中央公民館大ホールで催された学童バザーに、多くの方が来場しました。家庭から持ち寄った品々と共に、学童保育所に通う子どもたちが作ったマフラーやミサンガなどのアクセサリーの販売やゲームのコーナーも人気を集めていました。



※学童保育ってなに? 播磨町には、各小中学校に学童保育所があり、町の補助と保育料で保護者が運営しています。子どもたちは放課後や長期休暇の間、第二の家庭として学童保育所で楽しく過ごしています。



▲モニターに映る懐かしい顔にほほ笑む参加者

ライマ市姉妹都市提携10周年イベント

3月15日(日)、アメリカ・オハイオ州ライマ市との姉妹都市提携10周年を記念して、インターネット回線を使った合同の祝賀イベントが開催されました。ライマ市とは、ホームステイによる交流が続けており、お互いの会場には、これまでの訪問者やホストファミリー約130人が集まり、にぎやかなイベントとなりました。

定額給付金申請受付 初日の窓口対応600人

3月30日(月)、町内の各世帯に定額給付金申請書が郵送されて最初の業務となったこの日、受け付け開始時刻の午前9時の時点で10人程度だった申請者の人数が午前10時で30人となり、窓口担当者4人に加えてロビーでの案内係り3人を増やして対応に当たりました。一時は30分程度の待ち時間となったものの、大きな混乱はなく初日だけで郵送も含めて、約千人が申請を終えました。4月17日(金)以降、順次、口座に定額給付金が振り込まれます。



▲申請は郵送でも受け付けています